

第四十五回句会 俳句

【高点句】

☆新しき傘の絵柄や梅雨に入る 〈青蛙〉

☆くせつ毛にまた手をやりて梅雨きざす 〈安津子〉

☆制服の白のあふるる夏列車 〈郁代〉

【各自一句】

・紫陽花や雫集めて艶を増し 〈童心〉

・梅雨湿り開いた本の数多し 〈莫院〉

・梅雨の蝶幼の目線より低く 〈明美〉

・蚕豆の莢剥くひそと頭寄せ 〈千恵〉

・隠し持つ心にも似て七変化 〈青蛙〉

・雨音や揺れる四葩の通学路 〈安津子〉

・菖蒲咲く島津別邸旅日和 〈一馬〉

・梅雨寒や数独にらみ背まるく 〈眞澄〉

・雷鳴の和音に合わせバツハ弾く 〈郁代〉

*以上、27句（3句ずつ9名）より、選句は12名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で2句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）